

(4) 専攻科目の先修制 (P.21 参照) について

① 下表の B 群に示す科目を履修登録するためには、A 群の科目の単位修得が条件となります。

A 群	B 群
情報処理実習 I A	情報処理実習 I B
情報処理実習 I B	情報処理実習 II A
情報処理実習 II A	情報処理実習 II B
社会福祉援助技術現場実習指導 I A	ソーシャルワーク演習 II
社会福祉援助技術現場実習指導 I B	社会福祉援助技術現場実習指導 I B
社会福祉援助技術現場実習指導 I C	社会福祉援助技術現場実習指導 I C
社会福祉援助技術現場実習 I (登録済み含む)	ソーシャルワーク演習 III
社会福祉援助技術現場実習 I	社会福祉援助技術現場実習 II
社会福祉調査論	精神保健福祉援助実習
知的障害者教育指導論	社会福祉調査実習
肢体不自由者教育指導論	
病弱者教育指導論	特別支援教育実習

② 社会福祉援助技術現場実習 I の先修条件 (3 年次編・転入生を除く)

「社会福祉援助技術現場実習 I」を履修するためには、以下の科目を履修済み (一部登録済み含む) でなければなりません。履修する学期によって科目が異なるので、注意してください。

先 修 科 目	単位	セメ	6 セメ で履修する場合	8 セメ で履修する場合	備 考
社会理論と社会システム	2	1	●1	●1	「●1」のうち1科目以上
医学概論	2	2	●1	●1	「●1」のうち1科目以上
心理学理論と心理的支援	2	2	●1	●1	「●1」のうち1科目以上
ソーシャルワークの基盤と専門職	4	2	○	○	
高齢者福祉論 I	2	1	○	○	
高齢者福祉論 II	2	2	○	○	
障害者福祉論 II	2	2	○	○	
児童福祉論 II	2	2	○	○	
社会福祉原論	4	3	○	○	
ソーシャルワークの理論と方法 I	4	3	○	○	
社会保障論	4	3	○	○	
権利擁護と成年後見制度	2	3		●2	「●2」のうち1科目以上
社会福祉調査論	2	4	○	○	
地域福祉論	4	4	○	○	
公的扶助論	2	4	○	○	
ソーシャルワーク演習 I	2	4	○	○	
社会福祉援助技術現場実習指導 I A	2	4	○	○	
ソーシャルワークの理論と方法 II	4	5		○	
福祉行財政と福祉計画	2	5		○	
社会福祉運営管理論	2	5		○	
保健医療論	2	5		○	
ソーシャルワーク演習 II	4	5		○	
社会福祉援助技術現場実習指導 I B	2	5	○	○	
就労支援論	1	6		●2	「●2」のうち1科目以上
更生保護制度	1	6		●2	「●2」のうち1科目以上

※ 3 年次編・転入生の先修条件については、別途定めます。

(5) 社会福祉援助技術現場実習Ⅰの先修条件【編・転入生対象】

3年次第2学期（後期）（第6セメスター）に社会福祉援助技術現場実習Ⅰを履修するためには、3年次第1学期（前期）（第5セメスター）までに下記①～④を修得済み（ないし編・転入時に単位認定済み）であることが条件となります。

①社会福祉原論（前期4単位）、②ソーシャルワーク演習Ⅱ（前期4単位）、③社会福祉援助技術現場実習指導ⅠA、④社会福祉士指定科目12単位以上（①～③を除く）

(6) 「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」を履修する場合は、同時に「社会福祉援助技術現場実習指導ⅠC」を履修しなければなりません。

(7) 「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」を履修する場合は、同時に「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」を履修しなければなりません。

(8) 事前登録について

本学ホームページの「ポータルログイン」から、「Web予備・事前登録」画面にアクセスの上、希望科目を選択します。科目によっては、用紙の提出やアンケートへの回答等が求められる場合があります。

事前登録の方法・期間については、履修説明会および社会学部掲示板で確認してください。

3. 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ・Ⅱの登録

社会福祉援助技術現場実習Ⅰ・Ⅱの履修を希望する学生は、社会福祉援助技術現場実習指導ⅠAの授業内等で行われる実習説明会に参加の上、配付される実習アンケートを提出してください。

4. 現代福祉学科の実践教育

現代福祉学科では、実践教育を重視したカリキュラムを編成しています。

(1) 初年次の実践教育

1年次の必修科目に実践的な科目・プログラムを提供しています。

- ① 社会福祉実践論（必修科目）
- ② 社会イノベーション実践論（必修科目）
- ③ 基礎ゼミナール（必修科目）における「福祉入門体験」

(2) 実習系科目のうち、いずれかを選択しなければなりません。

- ① 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ
- ② 社会福祉調査実習
- ③ 特別支援教育実習
- ④ 情報処理実習ⅡA・B

I 社会福祉関係諸資格

1. 社会福祉士国家試験受験資格

現代福祉学科では、社会福祉士の国家試験を受験する資格を取得することができます。

1) 社会福祉士の職務

社会福祉士は、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識および技術をもって、身体上、精神上的の障害や環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供するとともに、医師や保健医療サービス提供者、その他関係者との連絡および調整その他援助を行うことを職務とします。

2) 社会福祉士資格の取得

社会福祉士になるためには、以下が必要となります。

(1)現代福祉学科において、厚生労働省令に定める社会福祉に関する科目（以下「社会福祉士指定科目」）の単位を修めて卒業すること **【国家試験受験資格】**

(2)社会福祉士国家試験に合格し、指定登録機関において社会福祉士登録簿に登録を受けること

3) 指定科目

現代福祉学科開講科目は、【表1】のとおり社会福祉士指定科目に対応しています。

なお、現代福祉学科では、社会福祉援助技術現場実習Ⅰ等の科目に先修制を設けているので、計画的な履修を進めてください（53ページ参照のこと）。

2. 精神保健福祉士国家試験受験資格

現代福祉学科では、精神保健福祉士の国家試験を受験する資格を取得することができます。

1) 精神保健福祉士の職務

精神保健福祉士は、精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の保健および福祉に関する専門的知識および知識をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害者の医療を受け、または精神障害者の社会復帰の促進を図るための施設を利用する者の地域相談支援の利用に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを職務とします。

2) 精神保健福祉士資格の取得

精神保健福祉士になるためには、以下が必要となります。

(1)現代福祉学科において、厚生労働省令に定める精神障害者の保健及び福祉に関する科目（以下「精神保健福祉士指定科目」）の単位を修めて卒業すること **【国家試験受験資格】**

(2)精神保健福祉士国家試験に合格し、指定登録機関において精神保健福祉士登録簿に登録を受けること

3) 指定科目

現代福祉学科開講科目は、【表3】のとおり精神保健福祉士指定科目に対応します。

なお、現代福祉学科では、社会福祉援助技術現場実習Ⅰを履修済みでなければ、精神保健福祉援助実習が履修できません。計画的な履修を進めてください（53ページ参照）

のこと)。

【表 1】 社会福祉士指定科目と現代福祉学科開講科目の対照表

指定科目等の名称	現代福祉学科開講科目の名称	セメ	履修条件
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2	1 科目以上 選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	1	
現代社会と福祉	社会福祉原論	3	必修
社会調査の基礎	社会福祉調査論	4	
相談援助の基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
相談援助の理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	3	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	5	
地域福祉の理論と方法	地域福祉論	4	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	5	
福祉サービスの組織と経営	社会福祉運営管理論	5	
社会保障	社会保障論	3	
高齢者に対する支援と介護保険制度	高齢者福祉論Ⅰ	1	
	高齢者福祉論Ⅱ	2	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅱ	2	
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	児童福祉論Ⅱ	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	4	
保健医療サービス	保健医療論	5	
就労支援サービス	就労支援論	6	1 科目以上 選択必修
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	3	
更生保護制度	更生保護制度	6	
相談援助演習	ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	必修
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	5	
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	7	
相談援助実習指導	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ A	4	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ B	5	
	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅰ C	6	
相談援助実習	社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	6	

【表2】 社会福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法
本表は、学則別表15に基づき、社会福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法について定める。

科目名	時間数	履修方法
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30時間	演習
ソーシャルワーク演習Ⅱ	60時間	演習
ソーシャルワーク演習Ⅲ	60時間	演習
社会福祉援助技術現場実習指導ⅠA	30時間	実習
社会福祉援助技術現場実習指導ⅠB	30時間	実習
社会福祉援助技術現場実習指導ⅠC	30時間	実習
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	180時間	実習

【表3】 精神保健福祉士指定科目と現代福祉学科開講科目の対照表

指定科目等の名称	現代福祉学科開講科目の名称	セメ	履修条件
人体の構造と機能及び疾病	医学概論	2	1科目以上 選択必修
心理学理論と心理的支援	心理学理論と心理的支援	2	
社会理論と社会システム	社会理論と社会システム	1	
現代社会と福祉	社会福祉原論	3	必修
地域福祉の理論と方法	地域福祉論	4	
福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画	5	
社会保障	社会保障論	3	
障害者に対する支援と障害者自立支援制度	障害者福祉論Ⅱ	2	
低所得者に対する支援と生活保護制度	公的扶助論	4	
保健医療サービス	保健医療論	5	
権利擁護と成年後見制度	権利擁護と成年後見制度	3	
精神疾患とその治療	精神医学概論	3	
精神保健の課題と支援	精神保健学	4	
精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	
精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	精神保健福祉援助技術総論	7	
精神保健福祉の理論と相談援助の展開	精神科リハビリテーション学	5	
	精神保健福祉援助技術各論	5	
精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉論Ⅰ	2	
	精神保健福祉論Ⅱ	3	
精神障害者の生活支援システム	精神保健福祉論Ⅲ	4	
精神保健福祉援助演習（基礎）	ソーシャルワーク演習Ⅰ	4	
精神保健福祉援助演習（専門）	精神保健福祉援助演習	7・8	
精神保健福祉援助実習指導	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	7	
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	8	
精神保健福祉援助実習	精神保健福祉援助実習	8	

方針
教育理念と
履修心得
履修の心得
履修心得
単位制度と
履修心得
開設方法
履修心得
履修登録
履修心得
成績評価
教育課程
編成方法
教育課程
科目
教育課程
専攻科目
教育課程
その他
諸課程
学修生活
Q & A
付録

【表４】精神保健福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法

本表は、学則別表１６に基づき、精神保健福祉士国家試験受験資格に関する実習演習科目の時間数と履修方法について定める。

科目名	時間数	履修方法
ソーシャルワーク演習Ⅰ	30時間	演習
精神保健福祉援助演習	60時間	演習
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	60時間	実習
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	30時間	実習
精神保健福祉援助実習	210時間	実習